

岩手県知事
達増 拓也 様

一級河川迫川水系に係る総合的な
治水対策事業に関する要望書



平成 27 年 9 月 11 日 撮影【栗原市築館沖富地区】

迫川水系総合治水対策促進期成同盟会

【要望の要旨】

栗原市・一関市・登米市圏域の一級河川迫川水系の治水安全度向上のため、総合的な治水対策事業の整備促進について特段の御高配を賜りますよう要望いたします。

【要望の理由】

迫川水系の治水対策事業につきましては、宮城・岩手両県の御尽力により、長沼ダムの整備完了や各河川の改修など、着実に整備がなされていることに対しまして、衷心より感謝申し上げます。

さて、治水事業は基盤整備の中でも生命と財産を守るものであり、安全で安心な地域づくりに欠かすことの出来ない事業であります。

迫川水系の治水事業については、昭和7年の着手以来、カスリン・アイオン台風による大水害を契機とし大きく前進してきてきたところでありますが、未だ集中豪雨のたびに異常な出水を来しております。

特に平成14年7月には台風第6号の襲来

による集中豪雨では、二迫川の堤防が決壊し、住民へ避難勧告が出され、農作物に大きな被害が発生しました。

また、迫川の増水により南谷地越流堤より越流し、栗原市若柳北二股地区及び登米市石越町南谷地地区の農地に湛水するなどの甚大な被害がありました。

近年も、平成25年7月の集中豪雨、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年10月の東日本台風をはじめ、昨年の令和4年7月豪雨などにおいて、河川堤防を越える洪水や、堤防が決壊し、住家や土木・農業施設、農作物への浸水により、住民の生活、事業者の活動にも多大な影響を及ぼすなど、甚大な被害が繰り返し発生しております。

地球温暖化に伴う気候変動による大雨や局地的かつ短時間の豪雨、台風の大型化の影響により、全国的にも河川氾濫や浸水被害などが増加傾向にあるため、流域住民から恒久対策の促進を求める声が大きくなってきております。

今後も、流域住民の悲願であります迫川水系の治水事業がなお一層促進されますよう、次のとおり要望いたします。

記

栗原市

- ・ 迫川改修事業の促進
(栗原市若柳大林地点から
長崎川合流点までの14.4km)
- ・ 二迫川河川改修事業の促進
(国道4号荒瀬橋から
栗原市鶯沢久保堀ノ内線1号橋までの14.2km)
- ・ 三迫川河川改修事業の促進
(迫川合流地点から栗原市栗駒
大河原橋までの8.7km)
- ・ 照越川河川改修事業の促進
(栗原市築館字照越付近)

一 関 市

- ・ 夏川河川改修事業の促進 L=2,310m
- ・ 磯田川河川改修事業の促進 L=2,065m
- ・ 上油田川河川改修事業の促進 L=1,350m

登 米 市

- ・ 長沼川河川改修事業の促進
(放水路区間 L=1,540m及びその上流区間)
- ・ 夏川河川改修事業の促進 L=2,310m
- ・ 荒川、落堀川河川改修事業の促進

令和5年9月6日

迫川水系総合治水対策促進期成同盟会
会 長 栗原市長 佐 藤 智

迫川水系総合治水対策促進期成同盟会構成名簿

会 長 栗 原 市 長 佐 藤 智

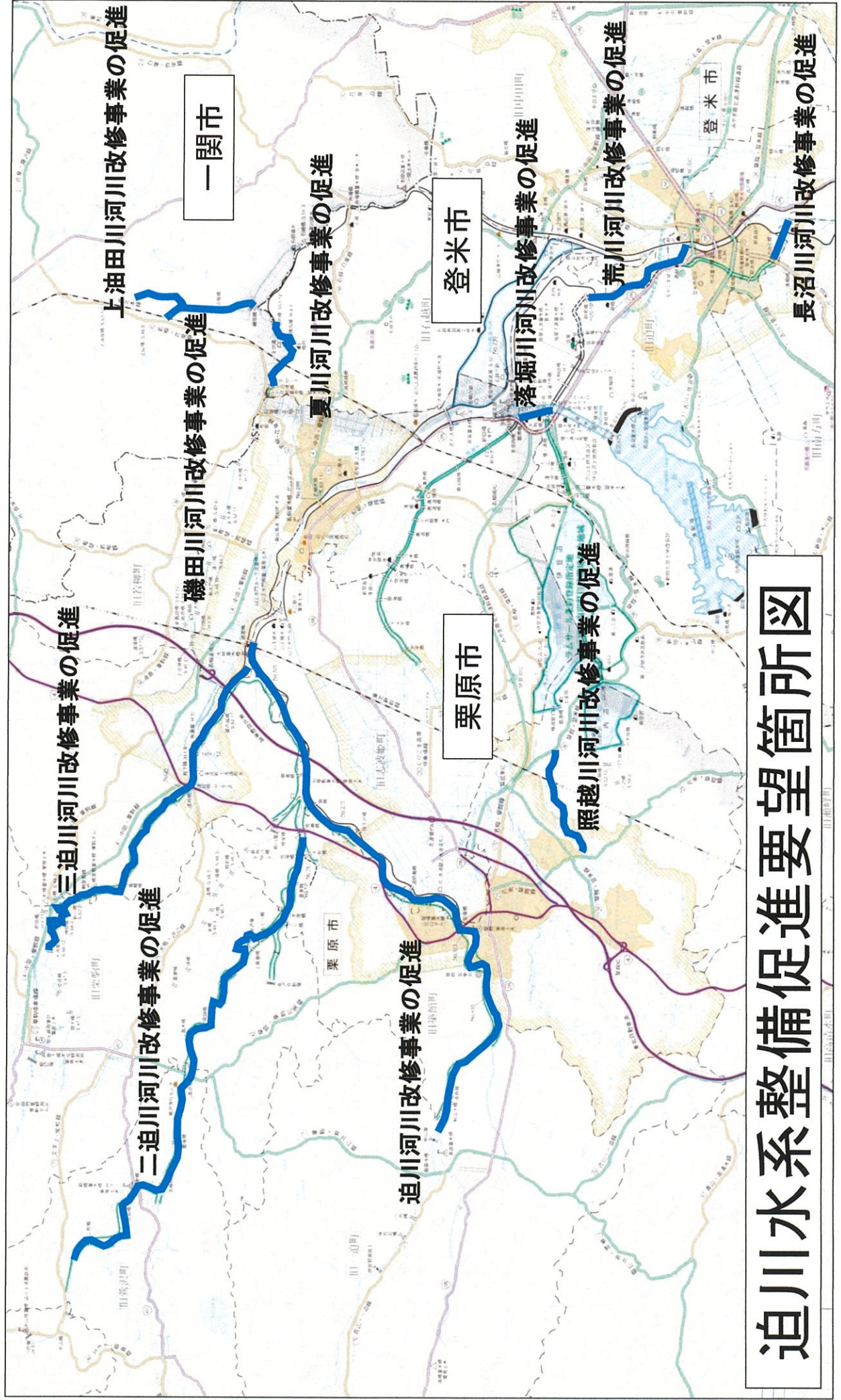
副会長 一 関 市 長 佐 藤 善 仁

副会長 登 米 市 長 熊 谷 盛 廣

理 事 栗 原 市 議 会 議 長 高 橋 涉

理 事 一 関 市 議 会 議 長 勝 浦 伸 行

監 事 登 米 市 議 会 議 長 關 孝



迫川水系整備促進要望箇所図